

# ワンセグ実験局 開局・運用 実施結果報告

## 1. ワンセグ実験局の開局目的と実施概要

防災情報の伝達など新しいサービスの可能性を秘め大いに期待されるワンセグ放送の魅力を体験するために実験局を開局しました。今回の実験は会場内の催し物を生中継放送し、会場に設置した受信装置でワンセグ放送を体験するというユニークな実験となりました。また、シンポジウムの来場者にも手持ちの携帯ワンセグ受信機で生放送の受信を体験していただく事ができました。

## 2. 設備概要

### (1) 実験局概要

	項目	内容
1	送信チャンネル／リモコン番号	24ch※／11番
2	送信出力	10mW（フルセグ）
3	送信アンテナ	3素子リングアンテナ、3基
4	対象エリア	KKRホテル講演会場およびロビー周辺
5	送出コンテンツ	シンポジウムイベント内容 地上デジタル放送関連情報
6	リソース設備	HVカメラ、再生用HD-CAM

※NHK熊本親局デジタルチャンネルと同一周波数

### (2) 希望送信チャンネル選定

使用を希望するチャンネルを選定するため、対象サービスエリアであるKKRホテルで全チャンネルの潜在電界を測定すると共に、ホテル周辺の受信実態も考慮し、妨害を与えない希望チャンネルを選定しました。

また、ワンセグ受信機への実験局チャンネルの登録を容易にするため、現在福岡以外の親局で使用されているチャンネルを希望することとしました。

### (3) 送信アンテナ

対象サービスエリアであるKKRホテルは放送中には3つの区画に仕切られるため、それぞれの区画に送信空中線を設置する必要があり3基構成となりました。

## 3. 生中継放送とリソース

### (1) ワンセグ放送

今回のワンセグ実験局の特徴である生中継放送を行うために、映像は2台のHVカメラを切り替え使用しました。中継対象が割合シンプルな講演会映像のためにカメラは2台としましたが、放送内容によってはさらに必要となることが考えられます。音声は会場PA装置からの分岐出力を使用しました。

また、休憩時間中は会場の映像、音声が使えないため、シンポジウム実行委員会から提供を受けた地上デジタル放送関連情報コンテンツをあらかじめ編集しておき、HD-CAMVTR装置でハイビジョン再生を行いました。

### (2) ワンセグデータ放送

実験の一つとしてワンセグデータ放送を行いました。シンポジウム当日の放送プログラムを紹介する内容を送出しました。

#### 4. 受信設備

(1) 会場内に設置した受信設備コーナー

会場内に受信設備コーナーを設け携帯ワンセグ受信機、USBチューナーを使用したパソコンによるワンセグ放送受信を展示し、来場者にワンセグ生中継放送を体験していただきました。

(2) 講演会場で放映した受信画像

USBチューナー+パソコンでの受信映像を講演会場でプロジェクターにより放映し、新しい形でのワンセグ受信を展示しました。

(3) 来場者の携帯ワンセグ受信機

来場者がお持ちの携帯ワンセグ受信機でも受信が可能であることを呼びかけ生中継放送を受信体験していただきました。なお、携帯ワンセグ受信機での放送チャンネルの追加登録は機種により方法が異なるため、登録方法の問い合わせが集中して混乱しないよう各携帯通信事業者に、実行委員会から協力を依頼し説明担当者を派遣していただき混乱を回避することができました。

ワンセグ信号にはNITデータを付加し、新チャンネルの自動登録が容易に出来るよう設定しましたが、機種によっては「地域設定」からの登録の方が容易な機種もありました。今回は送信チャンネルを熊本親局の教育TVチャンネルを使用したため、地域を「熊本」として登録することが出来ました。数多くの機種の登録を短時間で実施するためには携帯通信事業者の協力が必要不可欠でした。

#### 5. 実施結果

来場者からはワンセグ実験局への質問や活用方法などの意見が寄せられ、ワンセグ放送への今後一層の期待や可能性について興味を持たれました。